

「北本みらい塾」

塾生募集

中学生10人

保護者をバディとした2人1組での参加も可能です。

「世界のみらいを創る人財」を育てる新しい考え方の塾です。

最近のデジタル化とネット社会の進展により、学習環境は劇的に変化しています。この「北本みらい塾」は、高校受験、大学受験、社会での自己啓発などの知識や経験と新しい技術を融合させ「普通の学校では教えない」知識と技術を学ぶ塾です。

■ 講座内容 ■

1 オリエンテーション

北本みらい塾の基本的な考え方と、カリキュラムの概要を説明し、一部体験学習を行います。また、講師陣と参加者の自己紹介を行います。

3 朗読と話し方のクリニック

私たちは生まれて成長する中で、話すことから人と関わることを始めます。そして命ある限り話し続けます。その結果、その人の声のキーや声質、大きさやスピードがその人の存在感を作り出します。この講座では、感情を込めた朗読、あるいは淡々とした音読の技術を体験することにより、発音・発声・滑舌に関する基本、そして話すことの楽しさと素晴らしさを学習します。

5 新英語学習メソッド入門

英語の学習は、センテンス単位で記憶することにより圧倒的に効果があります。この新しいメソッドは、まず自分が将来使いたい英語表現を見つけ、ネット上に登録し、グループで共有して活用するものです。

7 知的生産の技術入門

これまで以上に、単純作業はAIやロボットが担う時代を迎えています。人に求められる能力は、問題を発見したり、解決方法を創造する力です。そのため、組織や社会などの構造を知るための「KJ法」や、新しいアイデアを生み出す「ブレインストーミング」などを学びます。

2 呼吸と身体と心のクリニック

私たちは命ある限り呼吸し続けます。呼吸はまさに生きることの根源であり、若いうちに一生続ける楽で機能的な呼吸を身に付けることは重要です。この講座では、フェルデンクライスの中の呼吸に関するレッスンによって、背中や緊張を取り、腹部をゆるめ、横隔膜、肋骨の機能的な動きを学びます。仕事でもプライベートでも、知性も感情も、本来の呼吸をマスターすることから始まります。

4 囲碁入門

囲碁は日本の伝統文化であり、それ自体学ぶ価値があります。しかし、それ以上に、囲碁は思考力の訓練として価値があります。囲碁の対局中の脳の血流は、他のどの学習行為の場合より高いと言われています。パソコンの囲碁ソフトにより、遊びながら思考力の向上を図ります。

6 問題解決入門

アメリカの主要な大学には、「Problem Solving」(問題解決)の基本的な技術を学ぶ講座があります。社会での仕事は、この、問題解決の連続と言っても過言ではありません。中学生の時期に、問題解決の思考的な枠組みを理解しておくことは重要なことだと考えます。

8 文書技術入門

相手に伝える技術、つまりコミュニケーションの技術はますます重要になっています。そのため、わかりやすい文章のための原則を学ぶ必要があります。また、文章作成能力を補完するものとして、箇条書きの活用、表やグラフの活用、図解の技術などを学びます。

うら面1番大切な9 プレゼンテーション入門へ続く



※受講者の15年後のイメージ画像です。

9 プレゼンテーション入門

ビジネスの世界では、説明し説得する技術、つまり、プレゼンテーションの技術が必須です。中学生の時期に、プレゼンテーションにおける組み立ての基本や、アイコンタクトとビジュアルハンドの基本動作、話し方などの基本を学ぶことは、将来必ず役に立ちます。

■ 講師プロフィール ■



イケコ

長年の一般体操指導により1998年埼玉県体操協会より優秀指導者賞を授与される。自身の身体への興味から日本でのフェルデンクライスプロフェッショナルトレーニングに参加、2000年5月全課程修了。フェルデンクライスの普及に努めている。2015年公開、宮部みゆき原作、成島出監督・映画「ソロモンの偽証」に姿勢指導担当で参加。東京女子体育短期大学卒。



平山ヤエ

古今にわたる、様々な作品の朗読と語りを行なう。語り部出演したラジオドラマが、日本民間放送連盟賞エンターテイメント部門出品作品となる。令和2年度文化庁芸術祭に平野啓子氏とともに二人語りとして参加。令和3年度文化庁芸術祭に「怪談一ものがたり」で参加。鴻巣市観光大使。鴻巣市群読会代表。



高橋伸治

外資系広告代理店でコンピュータシステムを担当。企業イメージコンサルティング会社にてCI(企業イメージ戦略)担当。プレゼンテーション、図解文書、企画作り等の書籍を複数執筆。北本中学校PTA会長・北本市まちづくり観光協会副会長・NPO法人埼玉SOHO理事長など、地域の市民活動に参加。東京大学経済学部卒。

- 対象者 中学生10人(1年生・2年生を想定しますが、学校で教えない知識と技術なので、3年生でも可)(バディ方式:2人1組で参加/保護者とのバディも可)
- 講座会場 北本市中央1-141 高松ビル2F NPO法人埼玉SOHO
- カリキュラム 3ヶ月で10回/1回2時間
- 事業日程 以下の土曜日 13:30~16:00
2021年 10月/9日・23日・30日 11月/6日・13日・20日・27日 12月/4日・11日・18日
- 授業料 1人3万円(保護者とのバディ参加の場合は2人で5万円)
- 申込め切り 2021年9月30日(木)

※新型コロナウイルス感染状況によっては、日程・会場が変更される場合があります。

■ 主宰者からのメッセージ ■

私は1960年代から1970年代にかけての受験戦争の時代を生き延びました。その結果、東京大学経済学部に入學、卒業後には外資系の広告代理店と企業イメージ戦略のコンサルティング会社で働きました。

就職の際に驚いたことは、企業の採用担当者が、大学での学習成果に注目しないことでした。当時は、どの大学のどの学部・学科に合格できた人間なのかを評価基準とする傾向がありました。つまり、「記憶力の良さ」と「受験勉強という単調な作業に耐えた実績」が評価基準だったわけです。学歴・学校歴ではなく、取得した知識・技術で評価されるべきだと、私は考えます。

その後、社会人になって「自己啓発」という方法で、自分の能力を高める努力を続けたのですが、そうした中で、中学生の頃に学んでいれば良かったと思われる多くのことに気づきました。

この「北本みらい塾」は、その時の気づきを基にカリキュラムが作られています。

目の前の高校受験や大学受験も重要ですが、勝負は社会人になってからです。人生の早い時期に、社会で必要とされる能力のイメージだけでも獲得してほしいと思います。この考えに賛同いただける方々の参加をお待ちしています。

高橋伸治

■ 申し込み・お問い合わせ

北本市中央1-141 高松ビル2F NPO法人埼玉SOHO 「北本みらい塾」担当

電話・ファックス: 593-0077 Eメール: mirai@soho-salon.com 主宰者携帯: 090-8506-2629

プログラムコード PC:81